

未収金目標及び具体取組内容調書									
所属	東成区	担当・事業所名	総務課	債権整理番号(3ケタ)	東成 005	債権区分	私債権	債権名	業務委託契約違約金

1. 令和5年度の修正目標（＝未収金残高目標）の達成状況 … いずれかの記号を入力 ※修正目標 … 当年度当初に、前年度末の未収金残高の結果を踏まえて、当初目標を修正したもの

(例)令和6年度修正目標＝令和6年度当初に、令和5年度末の未収金残高の結果を踏まえて、令和6年度当初目標を修正したもの

過年度	B1	現年度		合計(過年度＋現年度)	B1	「A」… 目標達成、「B1」… 取組みは予定通り実施したが目標は未達、「B2」… 取組みを予定通り実施できず目標も未達、「－」… 当年度中に新規発生した債権のため、前年度時点で目標未設定
-----	----	-----	--	-------------	----	---

2. 未収金の推移（実績及び目標） … 色付け箇所のみ、百円単位を四捨五入した、千円単位の整数 ※当初目標 … 前年度中に設定する当年度の目標

(単位:千円)

過年度分										現年度分							合計		
前年度からの 調定繰越額	年度中の 調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高		調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高
ア ＝前年度ケ	イ ＝ア－ウ (▲＝増加を表す)	ウ	エ	オ	カ ＝イ＋エ＋オ	キ ＝エ÷ウ	ク ＝カ÷ア	ケ ＝ウ－(エ＋オ)		ウ'	エ'	オ'	カ' ＝エ'＋オ'	キ' ＝エ'÷ウ'	ク' ＝カ'÷ウ'	ケ' ＝ウ'－ (エ'＋オ')	キ'' ＝(エ＋エ') ÷(ウ＋ウ')	ク'' ＝(カ＋カ') ÷(ア＋ウ')	ケ'' ＝ケ＋ケ'
A 令和3年度 実績	0	0			0	－	－	0					0	－	－	0	－	－	0
B 令和4年度 実績	0	0	0	0	0	－	－	0	307	0	0	0	0	0.0%	0.0%	307	0.0%	0.0%	307
C 令和5年度 修正目標	307	307	0	0	0	307	－	100.0%	0	0	0	0	0	－	－	0	－	100.0%	0
D 令和5年度 実績	307	0	307			0	0.0%	0.0%	307				0	－	－	0	0.0%	0.0%	307
E 令和6年度 当初目標	0	0	0	0	0	－	－	0	0	0	0	0	0	－	－	0	－	－	0
F 令和6年度 修正目標	307	0	307	307		307	100.0%	100.0%	0				0	－	－	0	100.0%	100.0%	0

(参考)未収金残高の中期目標

令和7年度末	0	令和8年度末	0	令和9年度末	0
--------	---	--------	---	--------	---

3. 令和5年度を取組実績・課題・改善策など

令和5年度を取組実績
・債務者の代理人から債務整理の委任通知が送付されており、当該代理人に債務整理の手続き状況の確認を行い、「現在も手続き中である」との回答を得た。
課題と改善策
【課題】 — 【改善策】 —

4. 令和6年度を取組内容 … 「1. 令和5年度の修正目標(＝未収金残高目標)の達成状況」及び「3. 令和5年度を取組内容の検証など」の内容を踏まえて記載

未収金の解消に向けた取組
・債務者の代理人から債務整理の委任通知が送付されており、当該代理人に債務整理の手続き状況の確認を行い、「債務者の破産申立てについては却下の決定がされた」との回答を得た。 ・債務者に対し、納付交渉を行う。
未収金の発生抑制に向けた取組
—

… 未収債権の件数及び債務者数については、色付け箇所のみ、整数で入力。未収金残高については、色付け箇所のみ、百円単位を四捨五入した、千円単位の整数で入力。

【未収債権の件数数と償債済数並びに分類の考え方】

※ 未収債権の件数は、原則、譲渡を主として行っている場合は、事実上の債権の件数とする。（例：毎月の定期給付債権の場合、1人の債務者につき、1年間で12件の債権が発生していることとなる。）

※ 1つの債権に、連帯債務者や連帯保証人が設定されている場合であっても、調査票上、未収債権の件数は1件、債務者数は1人と考え、30の表は、未収債権の状況の進捗が最も進んでいる者の状況で分類する。

※ 債務者が死亡したとき、相続人が複数いる場合、相続総額に従い、債務が相続された（債務が分限された）債権が調査票上、未収債権の件数は1件、債務者数は1人と考える。

※ それぞれの相続人で、未収債権の状況が異なっている場合、30の表は、相続された債務額の最も大きい相続人の状況で分類する。同額の場合は、未収債権の状況の進捗が最も進んでいる者の状況で分類する。

※ 未収債権の進捗状況：① → ② → ③ → 回収債権：④ → ⑤ 又は ⑥ 又は ⑦ 又は ⑧ 又は ⑨ / 整理債権：⑩ 又は ⑪ 又は ⑫ → ⑬ → ⑭

令和5年度決算見込における 未収債権の件数(過年度+現年度)	1
令和5年度決算見込における 未収金残高(過年度+現年度) ＝上記2のD(含5実績)のケ	307